

実践日本史 シラバス	単位数	3 単位
------------	-----	------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。
使用教科書・副教材等	『詳説日本史B』(山川出版社) 『新詳日本史』(浜島書店) 『日本史用語集』(山川出版社) 『新日本史研究ノート 応用編』(啓隆社) 『山川一問一答日本史』(山川出版社)

2. 学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学期	1 日本文化のはじまり 2 律令国家 3 貴族政治 4 中世社会	4 5 6	原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について理解を深める。	[期末考查] 原始古代 ～中世
	〈1学期の評価方法〉 授業への取り組み、授業中に行う小テストおよび期末考查の結果を総合的に評価			
2 学期	4 中世社会 5 近世社会	7 8 9 10 11	中世国家と社会や文化の特色について理解を深める。 近世国家と社会や文化の特色について理解を深める。	[期末考查] 中世～近世
	〈2学期の評価方法〉 授業への取り組み、授業中に行う小テストおよび期末考查の結果を総合的に評価			
3 学期	6 近代 7 現代	12 1 2	近現代国家の形成と社会や文化の特色について理解を深める。	[期末考查] 近代
	〈2学期の評価方法〉 授業への取り組み、授業中に行う小テストおよび期末考查の結果を総合的に評価			
〈年間の学習状況の評価方法〉 授業への取り組み、授業中に行う小テストおよび期末考查の結果を総合的に評価				

3. 学習方法の要点

- 教科書の記述と『一問一答問題集』の問題を照らし合わせてチェックする。あわせて図表を用いることで、歴史的事象の内容の理解を視覚的にも深める。
- 何度も教科書を熟読して文脈で記憶する。
- 重要だと思われるところは、自分でノートをつくり後で何度も見直して覚える。
- 授業中、先生に指摘された教科書・史料集・図表などの箇所にしるしをつけ、あとで見直す。
- 復習を中心にする。その際授業のなかで触れられなかった図表や史料にも必ず目を通す。
- 大学入試のテスト範囲は、教科書・史料・図表などの教材すべてである。